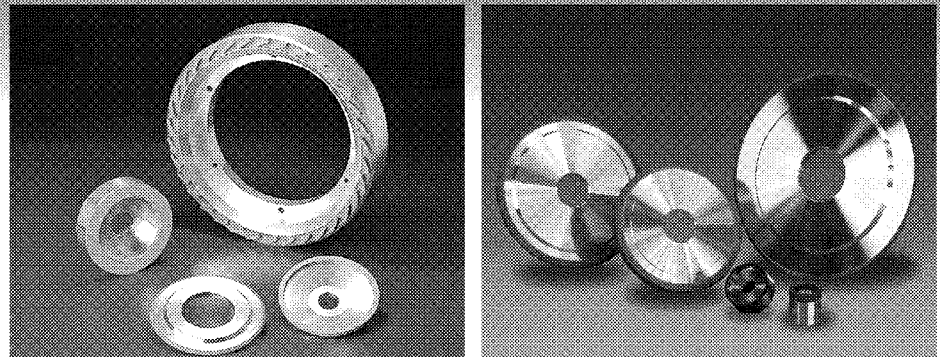


ハイブリッドボンド型ダイヤモンドホイール



エス・アプラス

従来のハイブリッド型
アプラスホイールの性能を
10~80%アップしました。

ボナレックス

工具研削において従来の
レジン型ホイールの性能を
500%以上アップしました。(当社比)

N Nitolex 株式会社
本社工場 470-2343 愛知県知多郡武豊町小浜184 TEL.0569-72-0551 FAX.0569-73-3451
ニートレックス 販売本社 466-0064 名古屋市昭和区鶴舞2-17-3 TEL.052-872-4151 FAX.052-872-0558
東京・日立・仙台・小山・見附・名古屋・富山・安城・小野・水島・北九州・佐世保
URL <http://www.nitolex.co.jp/> E-Mail info@nitolex.co.jp

TOKYO DIAMOND
80th Anniversary
おかげさまで、
創業80年。

詳細はwebにて
東京ダイヤモンド

TEL 03-3723-8111 <http://www.tokyodiamond.com>

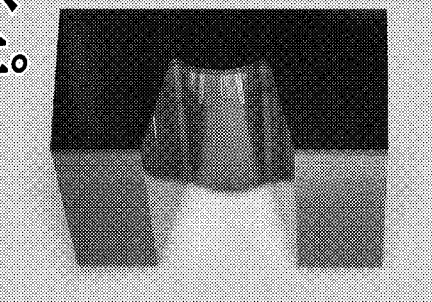
生産性が向上する金型部品をお届けします

ダイヤモンド金型部品

金型部品の硬度アップで、
金型寿命が飛躍的に向上。

かす上がり防止レーザ加工
(ものづくり日本大賞受賞)を
施したダイヤモンド金型部品

【特許取得】→



特注金型部品のエキスパート
株式会社 **新日本テック**
大阪・鳥取・岡山
本社工場 〒538-0035 大阪市鶴見区浜2丁目2番81号
TEL.06-6911-1183
FAX.06-6911-1182
<http://www.sntec.com/>
社長 和泉、営業 石橋まで

ダイヤモンド/CBNホイール
STRAX®
シュトラックス

ZEROホイール
◇SUS系材料の鏡面加工に
○フィルム用押出金型の微小スクラッチ傷の軽減と安定した平面度
○プラスチック金型(プリハードン鋼)に効果

BBM3レジメタホイール
◇石英ガラスの重研削加工に最適
○レジン・メタルハイブリッド結合剤により形状保持性能UP
○石英ガラス高負荷重研削加工において研削抵抗を抑制し、チップング減少に効果

株式会社 **片桐製作所**
超砥粒工具課 〒990-2338
山形県山形市蔵王松ヶ丘二丁目1-5 F10棟
TEL (023) 688-1817 FAX (023) 688-1816
E-mail: strax@katagiri.co.jp
<http://www.katagiri.co.jp>

東京ダイヤモンド工具製作所
東京ダイヤモンド工具製作所は今年創業80周年を迎えた。ダイヤモンド工具の総合メーカーとして、さまざまな商品のモノづくりをサポートし、社会に貢献している。
今年もトレンド商品である発光ダイオード(LED)やスマートフォンの多機能携帯電話。これらはもともとダイヤモンドの特性を生かし、顧客ニーズに合わせた新たなソリューションを提供する。

ノリタケカンパニーリミテド
ノリタケカンパニーリミテドは、世界に先駆けてトリファイドボンドのCBNホイールを開発し、工程の自動化に貢献してきた。その一つ、Sホイールは、特殊コーティングを施し、焼け防止を目的として開発した。これまでにクラックシャフトを研削でシールド部の焼

エービーイーダイヤモンド
エービーイーダイヤモンドは創業以来、ダイヤモンドブレード、ポリッシュ、ドライフ、リード、ヒューム管ビット、コアビット、ウオールソーなど多種多様なダイヤモンド工具を広範な業界に向けて製造・販売している。さらに、最近では耐火レンガ向けダイヤモンドブレードの製造・販売に参入した。

有力企業の製品・技術
〈順不同〉
兼房は国内でトップシェアを誇る工業用機械刃物の専門メーカー。中でもダイヤモンド刃物は非鉄金属系や樹脂系、木質系、窯業系の材料の切削で高い評価を得ている。工業用機械刃物全般のモノづくりで培ったノウハウの蓄積が、ユーザーへの総合的な技術アドバイスや新素材をはじめとする差別化への新しいアプローチに反映されている。

新日本テック
新日本テックはコネクタなどの製造に必要な超精密プレス金型向けに、多結晶ダイヤモンド(PCD)製の金型部品を提供している。
超硬合金以上の高硬度材料であるPCDをパンチやダイなどの金型部品を使用し、金型の飛躍的な長寿命化を実現。金型のメンテナンス工数削減を可能とした。さらにプレス加工時のカス上りを防止する。特に取得の「かす上がり防止レーザ加工」(ものづくり日本大賞優秀賞)の併用により、プレス回転数の向上やパンチとダイのクリアランス拡大による金型部品のさらなる長寿命化提案も行っている。

京浜工業所
京浜工業所は70余年の蓄積された技術をもとに、常に時代のニーズを先取りして「切る、削る、磨く」を追求し、幅広い製品を提供している。
同社の得意は提案営業活動と、長年の経験とデータの蓄積に基づく技術サービス。ダイヤモンド、CBNホニング、ホイール、焼結体工具、電着工具およびドレッシングなど製品は全てユーザーとの細かな打ち合わせによる受注生産で提供される。単結晶ダイヤモンドバイトにも力を入れ、ユーザーの要望に応えている。

ニートレックス
ニートレックスは2種類のハイブリッドボンド型ダイヤモンドホイールを開発した。これらのホイールは従来の超硬はもろくなる、超微粒子超硬においても、非常に優れた性能を発揮する。
「エス・アプラス」は従来のアプラスホイールの形状維持性を向上し、ホイール寿命を10~80%アップした。「ボナレックス」は超硬工具の溝加工では、同社の製品で最も高い性能を示すホイール。従来のレジンホイールの性能を5倍以上アップしている。

兼房
兼房は国内でトップシェアを誇る工業用機械刃物の専門メーカー。中でもダイヤモンド刃物は非鉄金属系や樹脂系、木質系、窯業系の材料の切削で高い評価を得ている。工業用機械刃物全般のモノづくりで培ったノウハウの蓄積が、ユーザーへの総合的な技術アドバイスや新素材をはじめとする差別化への新しいアプローチに反映されている。

豊田バンモップス
豊田バンモップスはダイヤモンド・CBNを素材とした工業化技術の先端を担う企業である。
主な製品として、ダイヤモンド・CBNホイール、ダイヤモンドロータリッドレッシング、シャフト加工用センターレスホイール、両面平面研削盤用レジンホイール、多結晶ダイヤモンドバイトを加工する高精度・高剛性の工具研削盤DPCG-4、さらにエレクトロニクス関連部品としてサンゴバン・アプレシブズ製の超微粒のバックグラインディングホイールや耐熱レジンボンドホイールがある。

片桐製作所
片桐製作所の独自ブランド「STRAX(シュトラックス)」の「ZEROホイール」は、フィルム用押出金型(ステンレス系+超硬など)の鏡面仕上げ加工において従来のホイールよりも加工面の微小スクラッチ傷の軽減と、平面度の安定した加工を可能としている。
また、新製品の「BBM3レジメタホイール」は、石英ガラスの高負荷重研削加工を発揮するレジン・メタルハイブリッドボンド。重研削において砥石形状を保持しながら研削抵抗を抑制し、チップングを減少することができる。

神谷機工
神谷機工は丸鋸・機械刃物の製造・販売を手がける。鉄鋼、食品、フィルム用チップソーから丸ナイフ、丸鋸、機械用特殊刃物など幅広いラインアップとなっている。大量受注はもちろん、対象物を実際に使用した試切削や再研削、コーティングも行う。サイズも小径から大径まで柔軟に対応している。
最近では、環境対策やコスト観念に厳しい企業要求に対応した「切り粉を最小減に抑える刃物や、素材リサイクルのための粉砕・破砕用刃物が好評を得ている。

旭ダイヤモンド工業
旭ダイヤモンド工業の電着ダイヤモンドワイヤ「EcoMEC(エコメック)」は、高張力ワイヤに特殊技術で、ダイヤモンド砥粒を電着した細径長尺ワイヤである。従来の遊離砥粒に比べ、シリコンやサファイアなど、硬脆材料のスライス加工時間を短縮できるほか、切り屑や加工歪みが低減され、歩留まり向上が期待できる。水溶性切削液を使用、切り粉の回収や再資源化が行え、トータルなコスト削減を図れる地球環境に優しい製品である。

日刊工業新聞社の教育用映像ソフト
切削加工の王道
WEBサイトリニューアルしました!

機械加工シリーズ 改訂版
切削工具材料

29,400円(税込み)
全1巻 39分/テキスト1冊付き

1 切削工具材料に要求される条件
2 鋼の工具
3 焼結工具
4 セラミック工具
5 サーメット工具
6 コーティッド工具
7 超高压焼結工具
8 ダイヤモンド工具

好評! 日刊工業新聞社の本
今日からモノ知りシリーズ
●A5判 ●定価 各1,470円(税込)

トコトンやさしい 切削加工の本
海野邦昭 著

モノづくりの基本である切削加工は、金属やプラスチックなどの各種材料を、工具と呼ばれる刃物で除去することにより、品物を要求の形状や精度に加工する。
本書は切削加工のイロハから学び切削加工を会得する際に必要なノウハウをやさしく紹介する。

●主な内容
●第1章 切削のイロハ
●第2章 切削工具材料のいろいろ
●第3章 切削油剤のいろいろ
●第4章 旋盤による切削
●第5章 ボール盤による切削
●第6章 フライス盤による切削
●第7章 コンピュータを用いた切削

●お求めは書店・弊社出版局ホームページまたはFAXでお申し込み下さい。◆

日刊工業新聞社 出版局販売・管理部 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1 TEL 03(5644)7410 <http://pub.nikkan.co.jp/> FAX 03(5644)7400